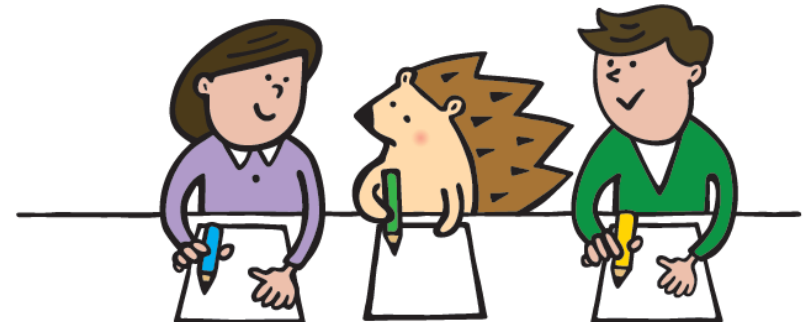




ともに学ぶ。考える。

インターネット安全教室

～大人もこどもも一緒に学び、考える。インターネットとのつきあい方～





安全教室指導用教材利用規約

独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター

「安全教室指導用教材」は、インターネット安全教室での利用を目的に独立行政法人情報処理推進機構（IPA）（以下「IPA」という。）が作成した教材、およびこれを用いて指導するためのポイントをまとめた講義要領（今後に作成され得る各々の改訂版を含む。）です。なお、改訂版が利用可能となった後は、専ら改訂版をご利用ください。

IPAは、本利用規約に同意いただくことを条件として、「安全教室指導用教材」の利用を無償で許諾します。有償セミナー等での利用を希望する場合は、事前にIPAに申し出て別途許諾を得てください。

1. 「安全教室指導用教材」に関する著作権その他すべての権利は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が保有しており、国際条約、著作権法その他の法律により保護されています。
2. 「安全教室指導用教材」は、情報セキュリティや情報モラルの教育、普及の目的に限り、無償の授業、各種セミナーや研修等にご利用いただけます。
3. 必要な範囲での複製（生徒等受講者への配布のための複製を含む。）は可能とします。
4. 「安全教室指導用教材」は原文のまま利用してください。ただし、グラフの形式を変える、文体を変える等、単なる表記形式のみの変更は可能とし、また、具体的な利用場面においてやむを得ない場合であって、かつ前記目的のために必要な場合には、その必要な範囲で、利用者の責任において、文意を変えず、かつ原文のままでないことが容易にわかるように明記または明示（例「～を基に作成」等）することを条件として、文面の一部改変等を可能とします。
5. 「安全教室指導用教材」の中のデータやグラフ・図表・イラスト・映像等の全部または一部を引用等した場合、本利用規約に同意したものとみなします。
6. いかなる形で利用する場合においても「安全教室指導用教材」を利用する際は、出典（IPAの名称、資料名（「安全教室指導用教材」）、URL等）を容易に判る態様で明記または明示してください。
7. 「安全教室指導用教材」を利用する部分と利用者が自ら作成する部分が混在した教材等を作成する場合、「安全教室指導用教材」利用部分か、利用者自身による作成部分かが容易かつ明確に判別できるようにしてください。なお、利用者は、自己の作成部分について全ての責任を負うものとします。
8. 「安全教室指導用教材」（本項においては、利用者が自ら作成する部分が混在する場合を含む）の二次利用を希望する者に対して複製物を配布する場合には、相手先に本利用規約を配布するなどにより、相手先が「安全教室指導用教材」（利用者が自ら新たに作成した部分を除く）を利用する際には本利用規約に同意する必要があることを伝えてください。
9. 「安全教室指導用教材」で提供する情報の正確性、信頼性、網羅性及び完全性については、IPAが保証するものではありません。
10. 「安全教室指導用教材」のファイルをダウンロードすることまたは利用したこと等により生じるいかなる損害（他人に対して責任を負う場合を含む。）についてもIPAは何ら責任を負いません。
11. 本利用規約は予告なく改正する場合があります。その場合、改正後の内容は、それがIPAのウェブページ上で公表された時以降の利用に適用するものとします。
12. 「安全教室指導用教材」及び本利用規約に関する質問は、net-anzen@ipa.go.jpまでお寄せください。なお、IPAからの応答等は、その業務に支障のない範囲内とさせていただきます。

知っておきたい 情報セキュリティ 【12】

「知っておきたい、これからの社会」
公衆Wi-Fi利用時の注意点について





説明できますか？

Wi-Fiって何？

Wi-Fiとは

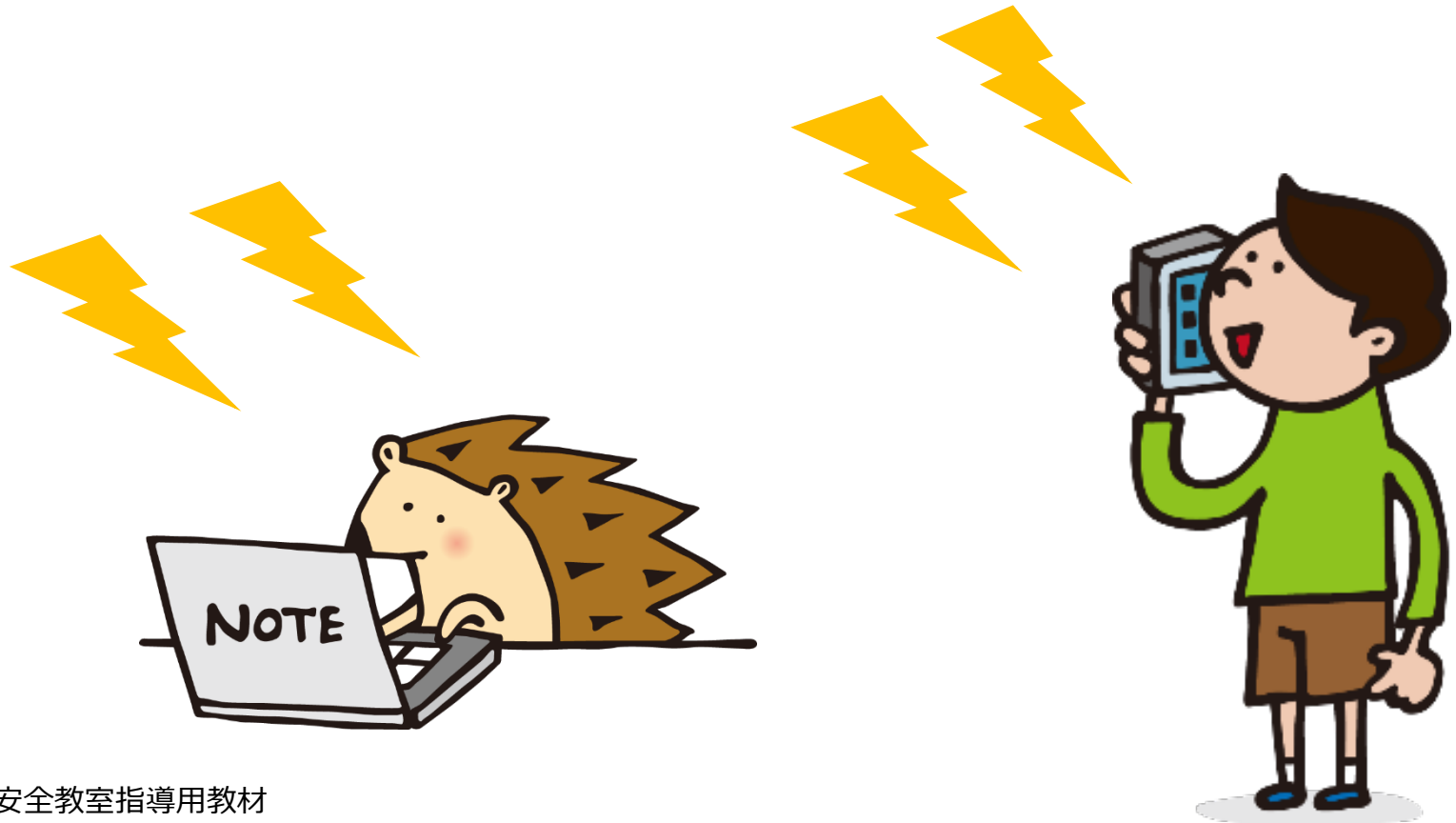


ケーブル（線）を使わず
電波でデータの送受信を
行うネットワーク。

Wi-Fiはどこにある？



家や外出先で利用可能



知ってますか？



公衆Wi-Fiスポット

コンビニ・カフェ・
ショッピングセンター・
空港・観光地



知ってますか？

公衆Wi-Fiってすぐに使えるの？

公衆Wi-Fiについて

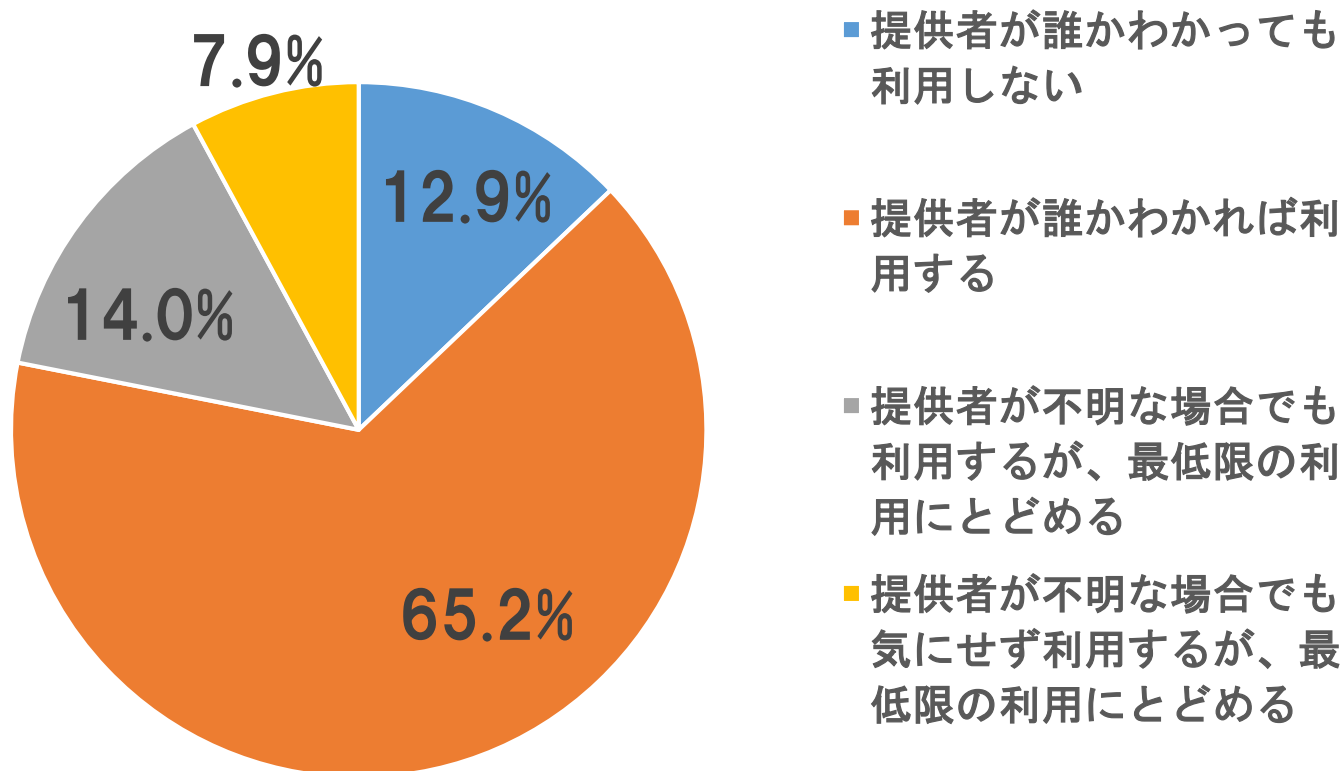


入会手続きが必要な
ものが多いが、何も
しなくてもつながらっ
てしまうものもある。

外出先でパスワードなしで接続可能な無線LAN

(無料Wi-Fi) を見つけた場合に利用するか

調査人数 480人

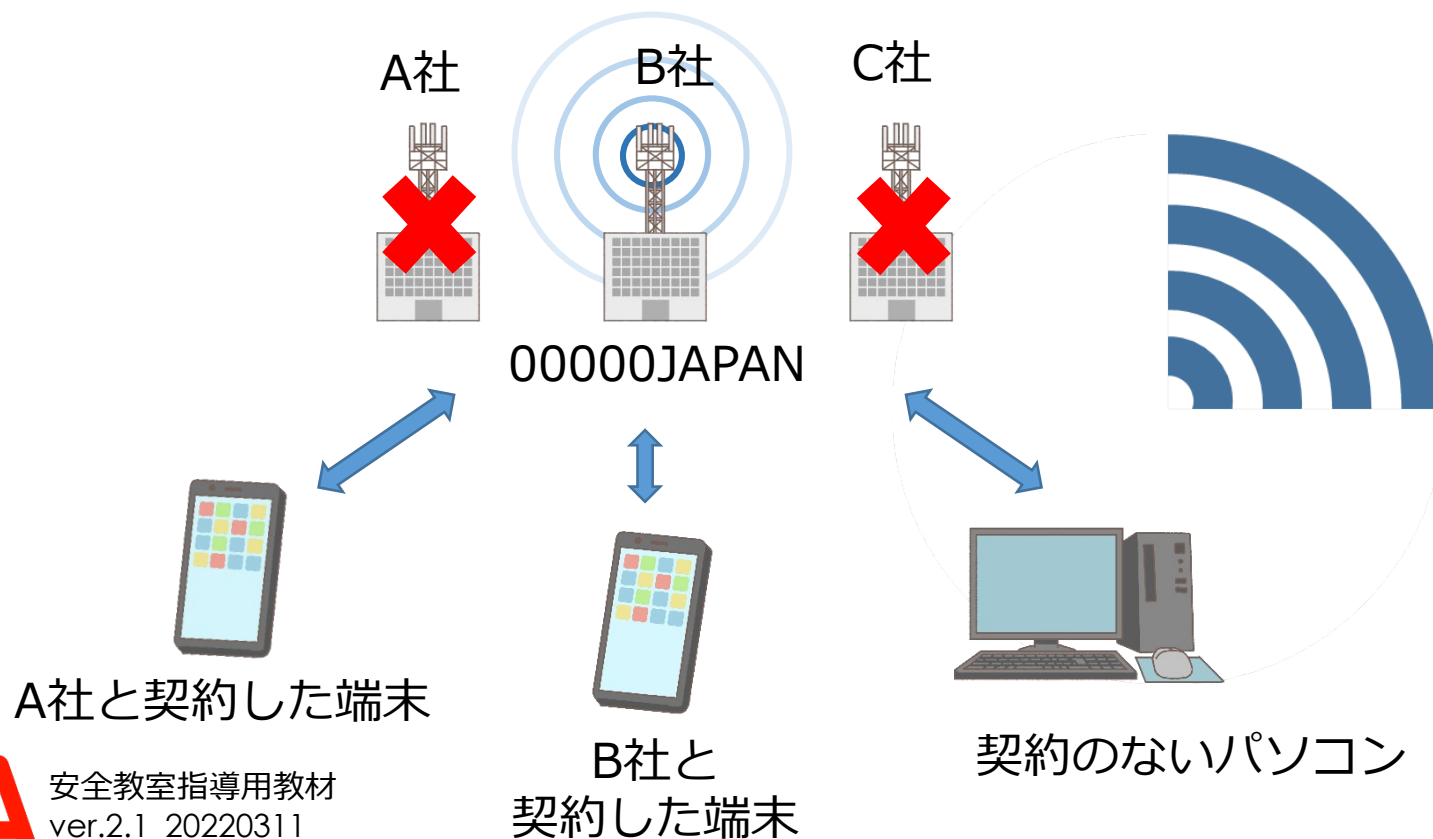


提供者が不明な場合でも利用する人が約22%

公衆Wi-Fiについて



緊急時用のWi-Fiも



整備が促進されます



Wi-Fi環境の整備促進。

災害時の通信手段、訪日外国人観光客からのニーズに対応。

防災拠点、災害対応の強化が望まれる公的拠点

避難所・避難場所



官公署



自然公園・都市公園



文化財



博物館



- Wi-Fiのメリットとして、災害時には、携帯電話等が輻輳のために利用できない場合でも、情報収集が可能
- ラジオや防災行政無線等の片方向の情報伝達手段と異なり、被災者のニーズに応じた情報収集が可能



知ってましたか？

危ないWi-Fiが ある？

危険なWi-Fiについて

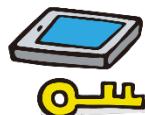
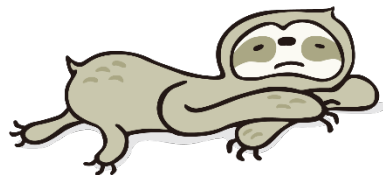


誰でも使えるということは、
悪意ある第三者も使えると
いうこと。

公衆Wi-Fiの危険性



- 通信内容を盗み見られる
- 不正サイトへ誘いこまれる



ポイント



- 偽のWi-Fiスポットを見抜くことは難しい。
- その場所に行かなくても事前に入会手続きをとることが可能なものは、事前に入会手続きを。



考えてみましょう

見られて困る情報 は？

ポイント



公衆Wi-Fiの通信内容は
すべて見られる可能性
がある。

見られると困る情報



- 氏名、住所、電話番号
- クレジットカード情報
- メールやメッセージのやり取り
- ID、パスワード

ポイント



見られると困る情報のやり取りをするときは・・・

公衆Wi-Fiは使わない。

まとめ

公衆Wi-Fiを利用する際は、通信が見られてしまう可能性があることを意識して使いましょう。

